

4年ぶりの実演!

10月11日(日)

南沢氷川神社と多聞寺で

市指定無形民俗文化財

南沢獅子舞



雄(お)獅子の頭(かしら)

雌(め)獅子の頭(かしら)

笛や歌に合わせて勇壮に舞う3頭の獅子の演舞が4年ぶりに行われます。ぜひ、ご鑑賞ください



おかめ・ひょっとこによるユーモラスな踊り「神楽(かぐら)」



迫力のある「太刀(たち)つかい」

■演舞日時・会場

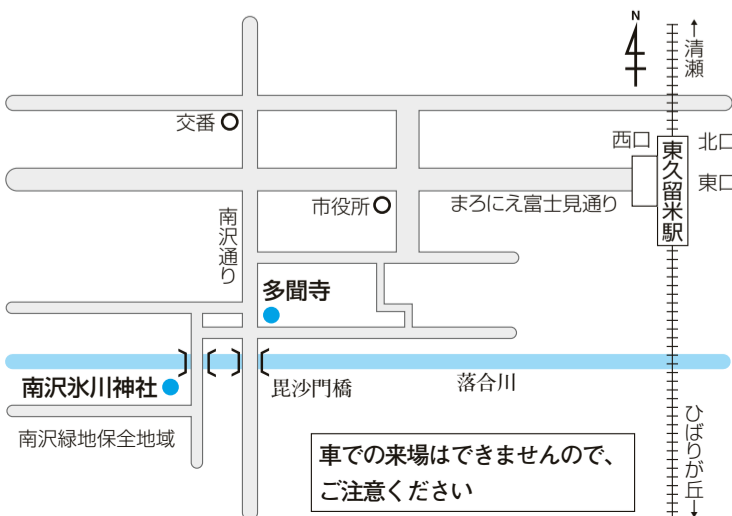
10月11日(日) ※雨天の場合は12日(祝)に延期
 午後1時ごろから南沢氷川神社(南沢3-5-8)
 午後6時ごろから多聞寺(本町4-13-16)
 ※前日の10日(土)午後6時ごろから、多聞寺で前夜祭の「揃(そろ)い獅子」も行われます

秋風に乗って聞こえてくるお祭りの笛の音が、懐かし
 いふるさとの風情を思い出させてくれます。
 今年、江戸時代から旧南沢村に伝わる「南沢獅子舞」
 が南沢の秋祭りとして4年ぶりに演じられます。私たちの住
 むまちの無形民俗文化財に指定されている、この歴史あ
 る伝統芸能を鑑賞できる絶好の機会です。
 詳しくは郷土資料室 ☎472-0051へ。

時の芸能が一緒に行われるの
 も特色です。さらに多聞寺で
 は、全国で数カ所しか残って
 いないといわれる、二人で掛
 け合いをする「万歳(まんざ
 い)」が、江戸時代の昔そのま
 まに上演されます。
 獅子舞は、
 「南沢獅子舞
 連」の皆さん
 によって保
 存・継承され
 ています。歴史的に貴重な伝統
 芸能として昭和42年に市の無
 形民俗文化財に指定されまし
 た。

願って、江戸時代初期から南
 沢の秋祭りの奉納行事として
 行われてきました。
 演舞では、獅子頭(かしら)
 をかぶり、腹に太鼓を付けた
 3頭の雄(お)獅子・雌(め)
 獅子が、笛や歌に合わせて勇
 壮に舞います。また、迫力の
 ある「太刀(たち)つかい」、
 歌舞伎の口上をのべる「世流
 布(せいりふ)」、おかめ・ひ
 よっとこがユーモラスに踊る
 「神楽(かぐら)」という、当
 今、市郷土資料室が編集
 協力し、南沢獅子舞連が発行
 したカラー刷りのパンフレッ
 トも当日配布されます。
 なお、車での来場はできま
 せんので、ご注意ください。

「南沢獅子舞」演舞会場(南沢氷川神社、多聞寺)案内図



車での来場はできませんので、
 ご注意ください

《今号の主な内容》

- ・市民税・都民税の新たな特別徴収制度
- ・都シルバークパスの発行手続きはお済みですか
- ・第30回市民文化祭を10月17日から開催
- ・ファミリースポーツフェスティバルを開催

2面
3面
4・5面
7面